

EV・PHVタウン構想の取組概要

- 「EV・PHVタウン構想」とは、「低炭素社会づくり行動計画」の取組方針にも位置付けられている、電気自動車(EV)、プラグインハイブリッド自動車(PHV)の本格普及に向けた実証実験のためのモデル事業。
- 電気自動車、プラグインハイブリッド自動車の初期需要を創出するためには、充電インフラ整備や普及啓発などを集中的に行う必要があることから、まずはモデル地域を選定し、自治体、地域企業等とも連携してEV、PHVの導入、環境整備を集中的に行い、普及モデルの確立を図り、日本全国への展開を目指す。

初期需要の創出

- EV、PHVそのものの魅力、購入時のインセンティブ、利用時のメリットの付与、性能に適した利用方法の検証を行いつつ、初期需要を創出する。

充電インフラの整備

- 現在のEVの最大のデメリットである航続距離への不安感を解消するため、普及台数、利用方法、地域特性等とのバランスを図りつつ、幅広い関係者が連携して、充電インフラを整備する

普及啓発の促進

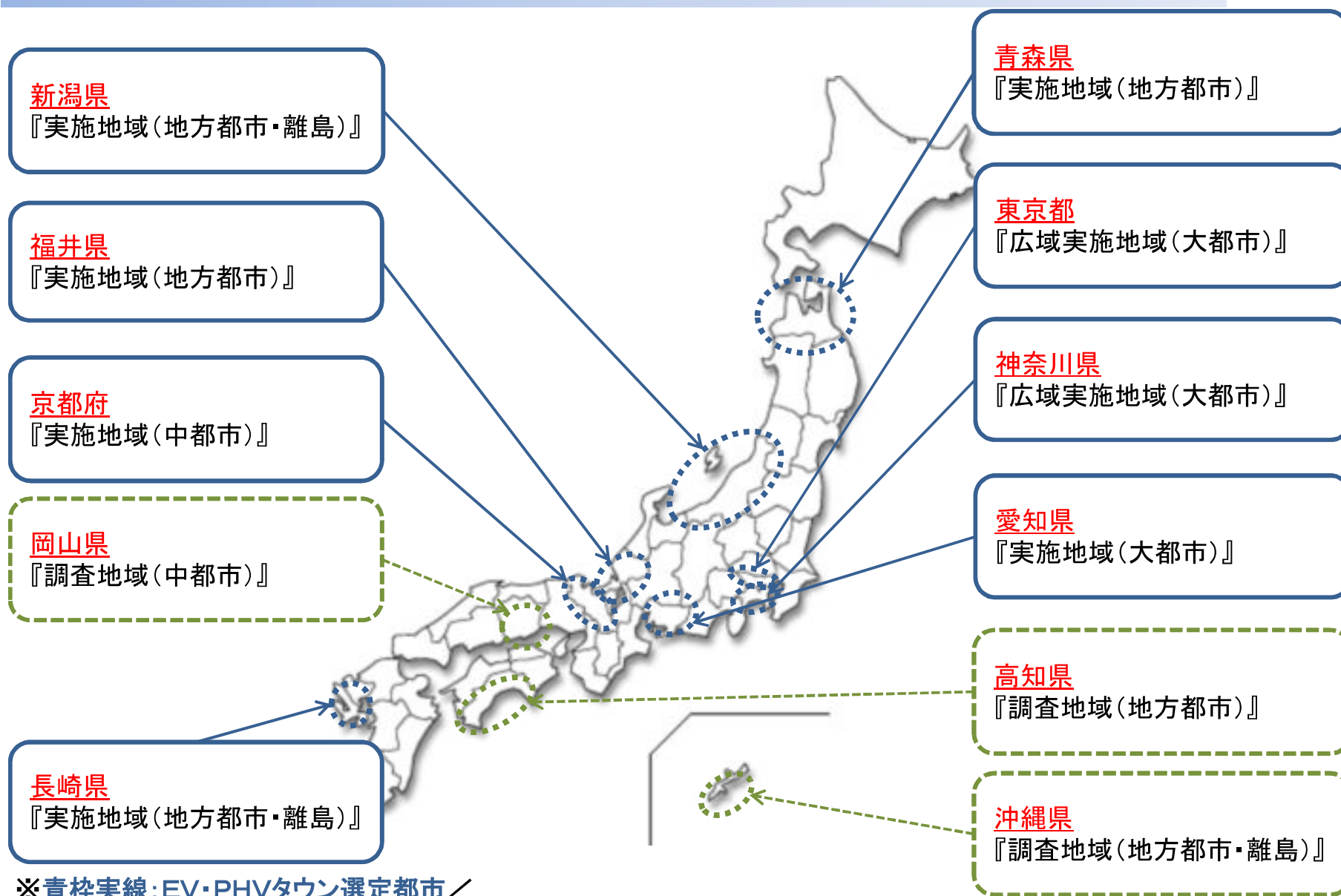
- 「EV・PHVタウン」の実施を通じ、EV・PHVを集中的に導入することによる見える化、話題化、環境・エネルギー性能における内燃機関自動車との差別化を図ることにより、普及啓発を促進する。

効果評価の実施

- EV、PHVの性能もさることながら、ユーザーの視点に立ち、充電インフラも含めて、その利便性、社会受容性等について評価を行い、普及啓発と相まって普及の加速化に資する。

第一期EV・PHVタウン選定都市一覧

出典：経済産業省資料



※青枠実線:EV・PHVタウン選定都市／

緑枠点線:調査地域／更なる調査を実施し、その後実施予定の提案募集を通じて「EV・PHVタウン」への選定を目指す地域